

Victory

NO.2

令和5年5月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館



第2回お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール入賞作品紹介

あなたの好きな本を誰かにすすめるコンクールです。本のジャンルは問いません。小説、詩、図鑑、マンガ…心に残った登場人物の言葉やその生き方考え方、それらをあなた自身の言葉ですすめたい相手に届けます。

昨年度のこのコンクールに本校の中学3年だった中武源貴君（現高校1年）が入賞しました。この場で紹介します。（冊子は図書館で見ることができます。）

この読書推せん文コンクールの応募対象は、小・中学生です。

中学生のみなさん、応募してみませんか？

5月5日頃を二十四節では立夏、5月15日～20日頃は七十二候では竹笋生（たけのこしょうず）と言います。昔の人は、日々の営みを通してこのように、その時々によさわしい言葉で季節を表現していました。日本の言葉は美しくそしてスタイリッシュだと思います。目で見て楽しみ、声に出して唱え、耳でも楽しみたいものです。



さて、中間考査も終わり今月末は高校総体が始まります。参加する運動部のみなさんの健闘を祈ります。

今月も新しい本が続々蔵書の仲間入り！こちらもお見逃しなく。いつもポケットに本を。

今月の授業支援



高校2年現代文B 単元『山月記』中島敦

・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。

【支援内容】関連資料コーナー設置

- ・中島敦の著書、『山月記』を書くきっかけとなった作品、著書のなかで同様に素材となった作品

中学3年生物 校庭の植物

・フィールド調査を通して、その植物の名称・生態等を知る。

【支援内容】資料支援 ・植物（雑草、草花等）図鑑

中学3年探究

- ・探究に必要な情報収集の方法についてのガイダンス



『山椒大夫・高瀬舟』
すすめたい相手 祖母
僕は二年以上、祖母と会えていない。祖母は重い病気に罹り、専門の施設に入ったのだ。
祖母とこの前電話をした。「どんなに大きくなったでしょう。」「会いたいな。」「将来が楽しみだ。」と、優しい声を渗ませながら、祖母は話した。僕はとても悲しくなった。「会えない」ということが、どれだけ寂しいことか、はつきりと分かったからだ。
この本に収められている、『山椒大夫』は「会えない」ことを強いられた、ひとつの家族の物語だ。祖母は最初の方を読んで、心を痛めるかもしれない。でも、最後には、必ず、「希望を持ち続ける力」をもらえると思う。おばあちゃん、いつか、必ず、病気を治して、また元気に会おうね。

詳しく知りたい人はこちらからアクセスしてみましょう。

第3回お気に入りの一冊をあなたへ 読書推せん文コンクール

（公益財団法人博報堂教育財団が開催）

募集期間：2023年5月1日～9月15日消印有効

当コンクールについての最新情報は、HPで確認を。





扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

第10回高校生直木賞全国大会

参加代表校として文藝春秋本社へ

コンセプトは、

「読む+語る+選ぶ=深まる」。

今月21日、東京の文藝春秋本社で開催された全国大会へ本校代表として3年藤木裕大君が参加しました。全国43校の参加校の中から地方予選（7日リモート開催）を突破した17校の各代表者が一堂に会し熱い議論を戦わせ、今年度の高校生直木賞を選びます。

実は今から約2年前にこの紙面で「高校生直木賞」を紹介しました。今回、初の参加が実現したこと、更に全国大会出場が叶ったことをとても嬉しく思います。

候補5作品を読み、その中から1冊を選びます。初チャレンジに挑んだのは、5人の読書好き（現2,3年生）。春休みを挟んで、計5回の書評会を実施し、それぞれが推薦する本について語り、考え、時に方向転換し、そして候補作品と代表者を決定。

図書館は社会とつながるハブ。1人でも多くのみなさんが一歩踏み出し、新しい風を感じ、新しい人と出会い、まだ見ぬ自分を知る機会をこれからも準備していきたいと考えています。

来年の第11回高校生直木賞への参加を待っています！！



高校生直木賞とは

フランスには、読書教育の一環として三十年以上にわたって行われている「高校生ゴンクール賞」（毎年二千人を超えるフランスの高校生たちが参加し、権威ある仏ゴンクール賞の候補作の中から自分たちなりの1作を選ぶ）があります。その日本版を目指して2014年5月に第1回（受賞作『巨鯨の海』）が開催されました。一高校生直木賞HPよりリンク先

<http://koukouseinaoki.com/>

第10回高校生直木賞は『汝、星のごとく』に決定



白熱した議論の末、他2作（『地図と拳』、『しろがねの葉』）を抑え、尻良ゆう著『汝、星のごとく』（講談社）に決定しました。それぞれが推す作品を多角的視点から読み込み、そこから得た作品の魅力、持つ力、そして同じ高校生に広く読んでほしいという観点から、1人1人が意見を述べる2時間半でした。当日の様子は後日高校生直木賞HPで見ることができます。

決定後、すぐに著者である尻良さんに会場から電話。祝福の言葉を届けました。あなたも、この本の世界を堪能しましょう。



図書館オリエンテーションを終えて

4月に実施したオリエンテーション終了後のアンケートから。それぞれのクラスに出した問いへの考えを共有し合った時間でした。

（対象：中学1年生80名 方法：図書館オリエンテーション振り返りシート）

本は10個の種類に分けられており番号も書いてあるため何があるかすぐわかった。10個の分け方もちゃんと考えられていたので驚いた。（分類の説明から）

情報センターとしての役割もあり、だからこそ「ウソ」の情報を教えなために廃棄する必要があると分かりました。私もここでたくさんのことを学びたいです。（廃棄はなぜ必要なのか？を考える宿題から）

とても面白かった。もっともっと図書館を活用して自分の考えを深めたり幅広いものにしたい。

思いつかなかった意見も多くありました。様々な視点から考えると利点・欠点は思いのほか多いことがわかりました。また、これからも本とインターネットを場合によって使い分けていきたいと思いました。（本とWEB情報のメリットデメリットについて考える宿題から）